

キャリアス就活
[career+]

2022卒 理系学生の序盤の就職活動（専攻分野別）

2021年4月

株式会社ディスコ キャリタスリサーチ

調査概要

<調査概要>

2022年卒の理系学生の就職戦線序盤の活動状況や志向に関する調査データの中から、主なものを抜粋し、4つの専攻分野（機械・電気系／情報系／土建系／化学・農学・薬学系）、あるいは文系学生との比較などを通して、その特徴を分析した。

調査対象 : 2022年3月に卒業予定の理系大学生・大学院生（修士課程）

サンプリング : キャリタス就活2022 学生モニター

調査方法 : インターネット調査法

	第2回調査	第3回調査	第5回調査	第6回調査	インターンシップ特別調査
調査時期	2020年11月	2021年1月	2021年3月	2021年4月	2021年3月
回答者数	1,072人	1,164人	1,305人	1,262人	802人
理系全体	414人	451人	477人	474人	307人
機械・電気系	102人	112人	109人	115人	62人
情報系	65人	67人	77人	67人	57人
土建系	52人	54人	59人	59人	39人
化学・農学・薬学系	106人	115人	114人	116人	74人

※上記以外の専攻系統も「理系全体」に含まれる。そのため、4専攻系統の人数の合計は「理系全体」と一致しない。

<目次>

1. インターンシップ等*参加状況①	P3	7. 就職先企業を選ぶ際に重視する点	P 9
2. インターンシップ等参加状況②	P4	8. 就職活動に関する情報の入手先	P10
3. インターンシップ情報を探した時期	P5	9. リクルーターとの接触	P11
4. インターンシップ先を探す際に重視したこと	P6	10. 就職活動量（4月時点）	P12
5. 序盤の志望業界	P7	11. 推薦の利用予定	P13
6. 第1志望業界になったきっかけ	P8	12. 「面白そう」と感じる仕事	P14

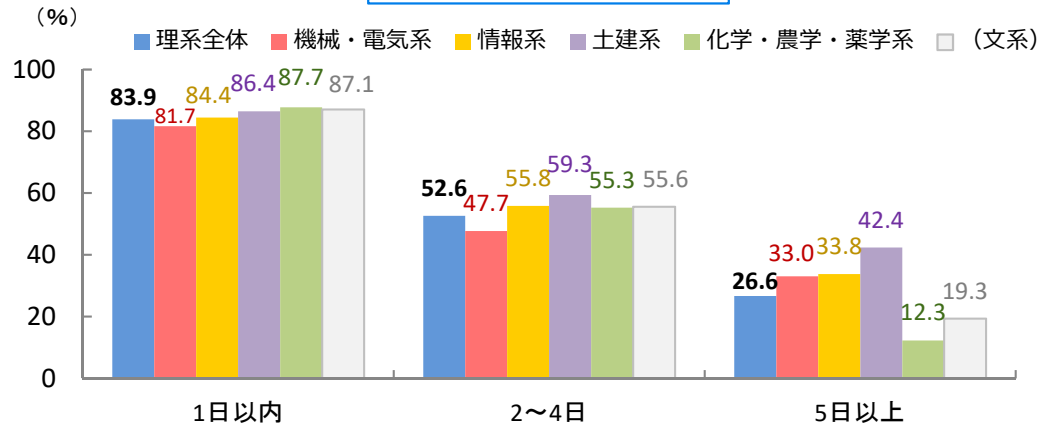
*1日以内のプログラムも含めて調査

1. インターンシップ等参加状況①

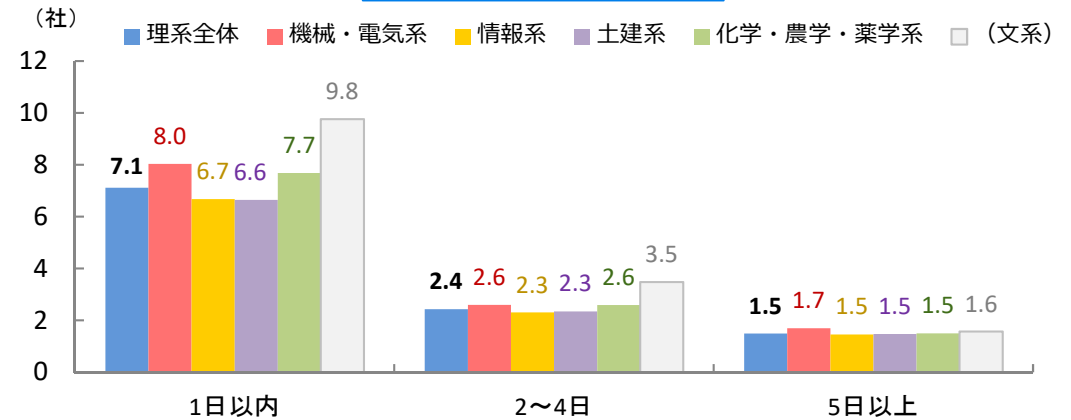
*1日以内のプログラムも含めて調査（以下同）

- 1日以内のプログラムは、いずれの属性も8割以上が参加経験を持つ。土建系は5日以上への参加率が他の専攻より高い(42.4%)。
- 参加社数は1日以内のプログラムにおいて文理差が大きく、文系(9.8社)より2社以上少ない(7.1社)。
- 参加時期はいずれの属性も8月と9月に集中。機械・電気系と土建系はこの2カ月で4割以上を占める。

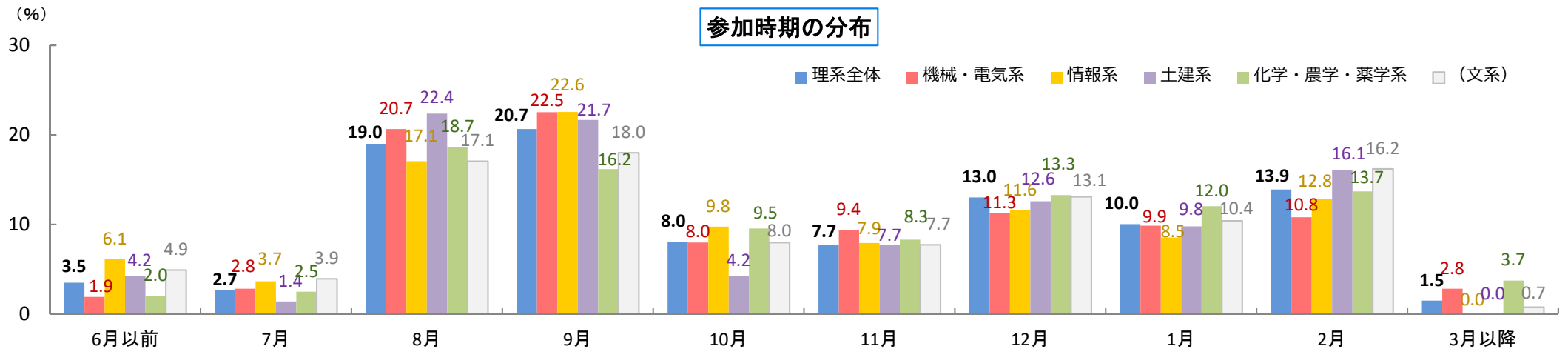
インターンシップ参加経験



インターンシップ参加社数



参加時期の分布

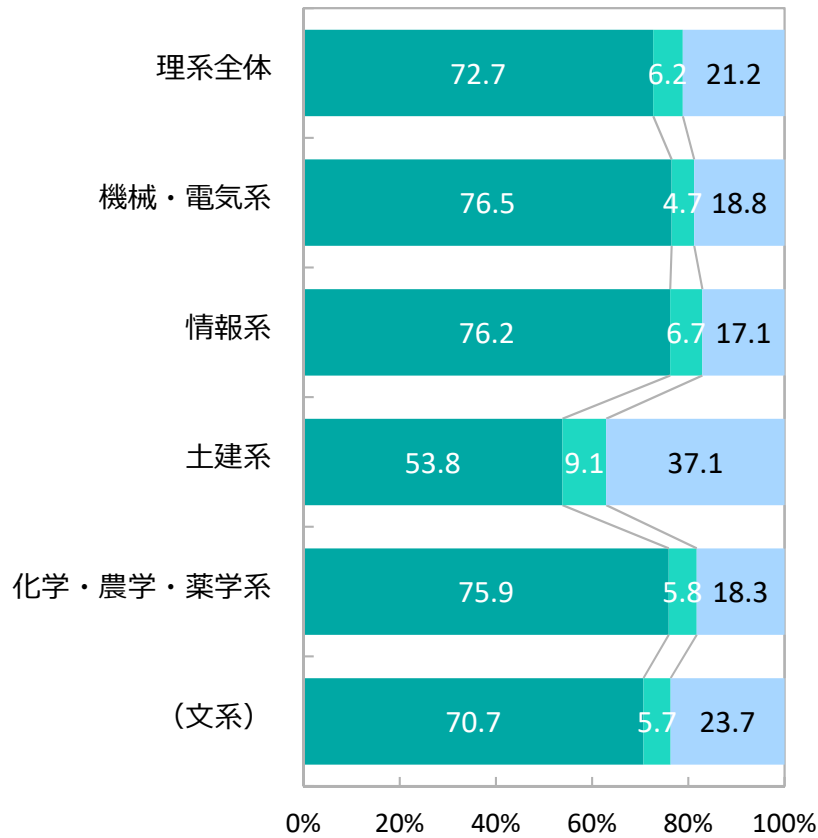


2. インターンシップ等参加状況②

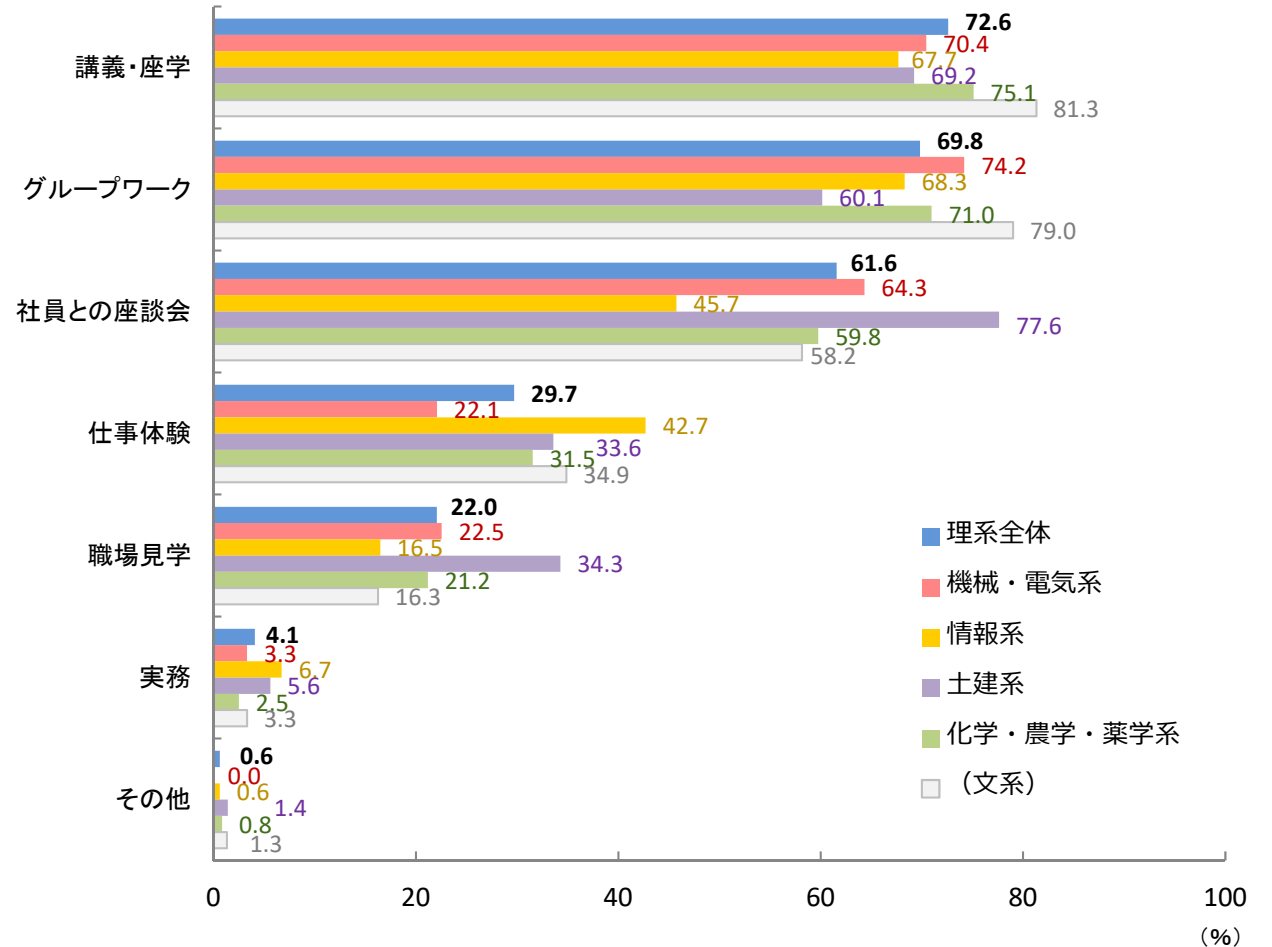
- 文理とも「オンラインのみ」で実施されたプログラムへの参加が7割を占める。
- 参加したプログラムは、理系全体では「講座・座学」「グループワーク」「社員との座談会」の順。
- 情報系は「仕事体験」が比較的多い(42.7%)。土建系は対面プログラムへの参加割合が高く、「職場見学」が他よりも多い(34.3%)。

インターンシップの形式

■ オンラインのみ ■ オンラインと対面の組み合わせ ■ 対面のみ

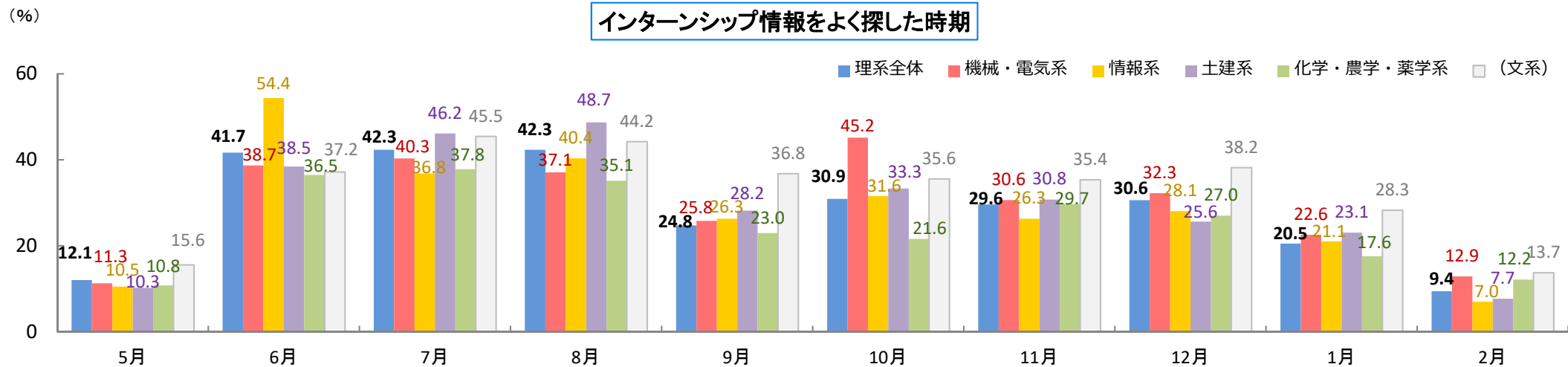
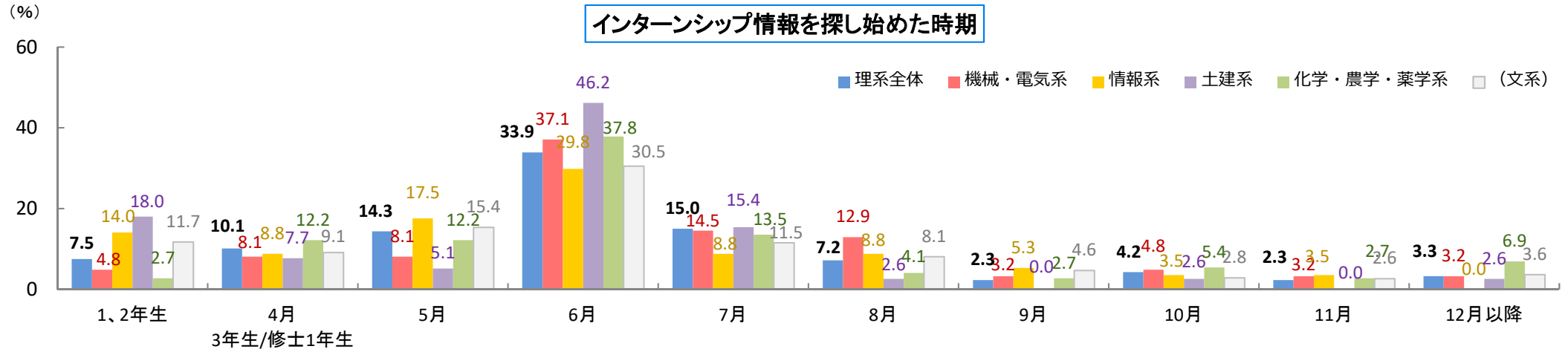


プログラム内容



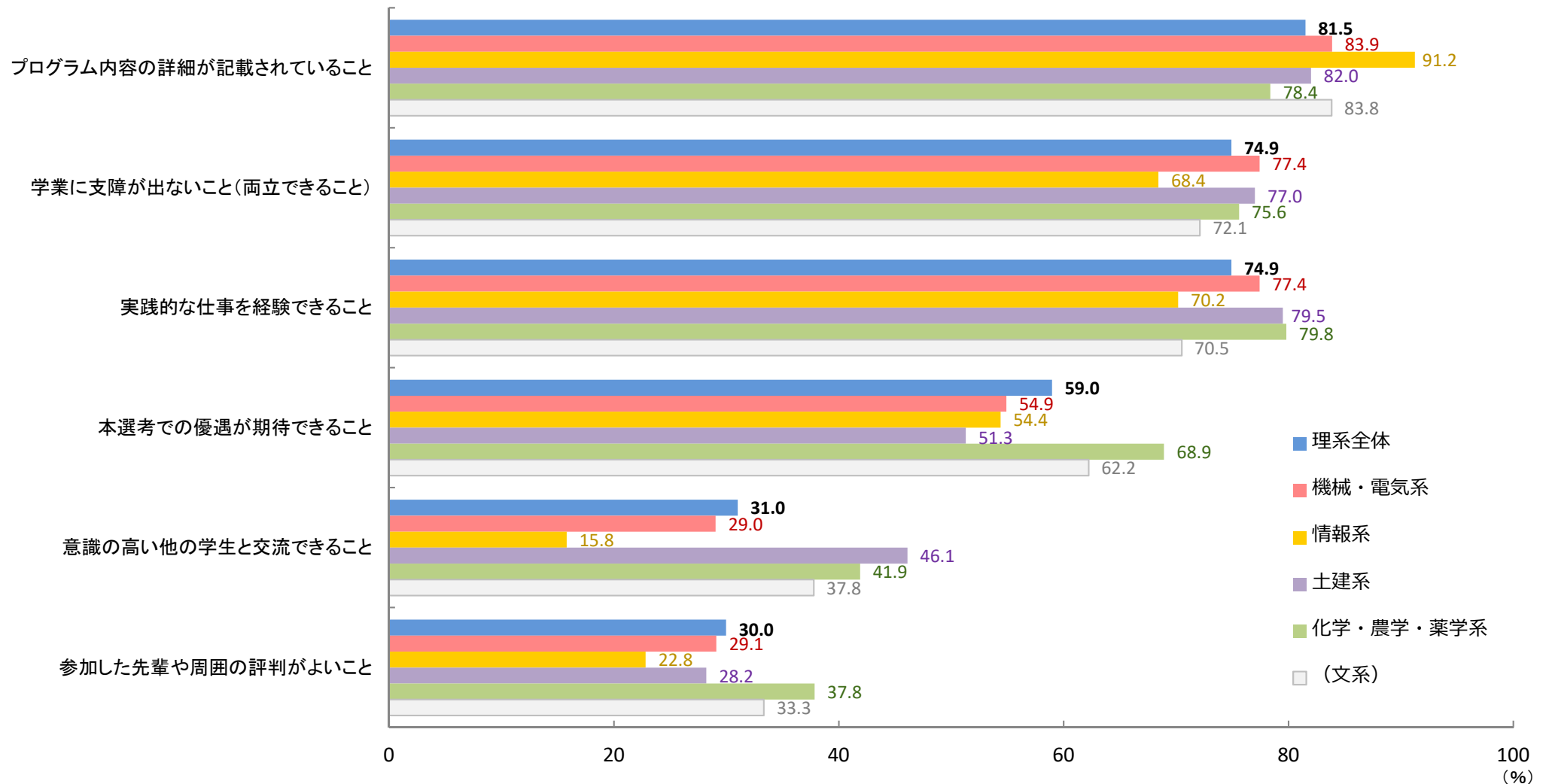
3. インターンシップ情報を探した時期

- 探し始めた時期は、いずれの属性も3年生/修士1年生の6月が最多。情報系は5月までの合計が4割を超えるなど、他より早くから開始。
- よく探した時期は、理系全体では6月～8月が4割を超え、夏季プログラムの情報収集が盛んだったことがわかる。
- 9月以降は大きく割合が下がり、文系が秋以降も3割後半が続くのは対照的。



4. インターンシップ先を探す際に重視したこと

- 応募時に重視した点は、文理とも「プログラムの詳細が記載されていること」が8割。情報系は9割を超え、さらに高い(91.2%)。
- 化学・農学・薬学系は「本選考での優遇が期待できる」が他の専攻分野より高いのが目立つ(68.9%)。



5. 序盤の志望業界(11月時点)

- 機械・電気系学生の志望業界は、「電子・電機」と「機械・プラント」が同率1位(49.4%)。次いで「自動車・輸送用機器」(46.0%)。
- 化学・農学・薬学系学生は、1位「素材・化学」(59.1%)、2位「医薬品・医療関連・化粧品」(46.2%)の順。
- 情報系学生はIT業界に、土建系は「建設・住宅・不動産」にポイントが集中し、専攻分野との関連性が強く表れている。

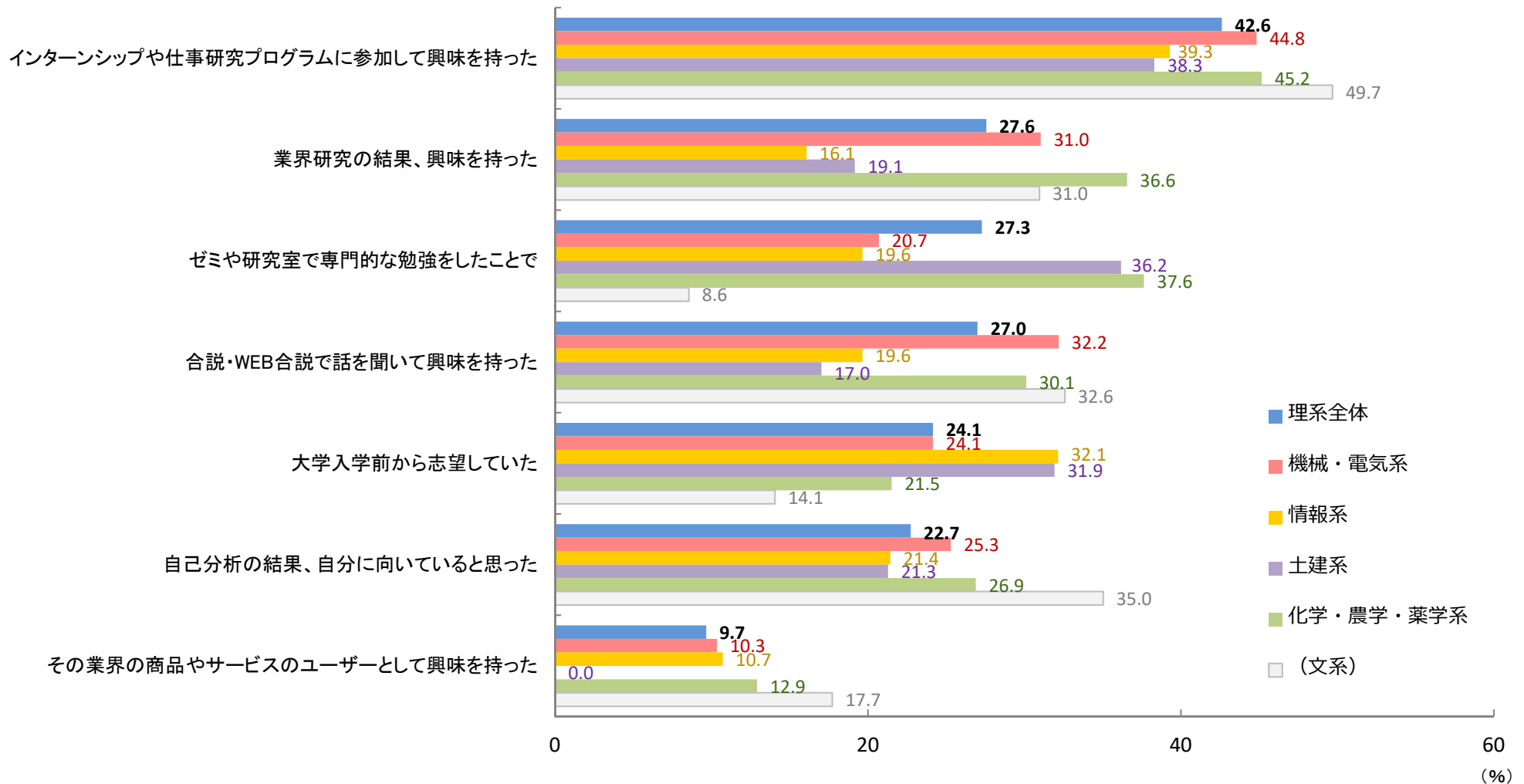
(%)

	理 系				文 系							
	機械・電気系		情報系		土建系		化学・農学・薬学系					
1	情報・インターネットサービス	24.1	電子・電機	49.4	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	76.8	建設・住宅・不動産	83.0	素材・化学	59.1	銀行	23.8
2	素材・化学	23.6	機械・プラントエンジニアリング	49.4	情報・インターネットサービス	75.0	官公庁・団体	27.7	医薬品・医療関連・化粧品	46.2	マスコミ	20.2
3	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	23.3	自動車・輸送用機器	46.0	通信関連	28.6	エネルギー	19.1	水産・食品	40.9	商社(総合)	16.9
4	電子・電機	23.0	精密機器・医療用機器	29.9	電子・電機	16.1	運輸・倉庫	17.0	調査・コンサルタント	14.0	水産・食品	15.5
5	水産・食品	18.8	運輸・倉庫	23.0	調査・コンサルタント	14.3	調査・コンサルタント	12.8	官公庁・団体	14.0	官公庁・団体	14.9
6	医薬品・医療関連・化粧品	18.2	エネルギー	21.8	マスコミ	10.7	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	8.5	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス	12.9	情報・インターネットサービス	14.5
7	機械・プラントエンジニアリング	15.9	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	16.1	エンターテインメント	8.9	情報・インターネットサービス	6.4	電子・電機	11.8	運輸・倉庫	14.5
8	建設・住宅・不動産	15.6	情報・インターネットサービス	13.8	その他サービス	7.1	電子・電機	6.4	エネルギー	10.8	建設・住宅・不動産	14.3
	自動車・輸送用機器	15.6			信販・クレジット・ファイナンス	7.1	機械・プラントエンジニアリング	6.4			調査・コンサルタント	14.3
							OA機器・家具・スポーツ・玩具他	6.4				

※「その他サービス」=セキュリティサービス、介護・福祉サービス、冠婚葬祭などのサービス業

6. 第1志望業界になったきっかけ

- 「インターンシップ等のプログラムに参加して興味を持った」が属性によらず最多。
- 情報系、土建系は「大学入学前から」が高く、志望業界決定のタイミングが早い。
- 機械・電気系、化学・農学・薬学系は「業界研究の結果」「合説・WEB合説で話を聞いて」など、就活を進める中で決まる割合が高い。



7. 就職先企業を選ぶ際に重視する点(1月時点)

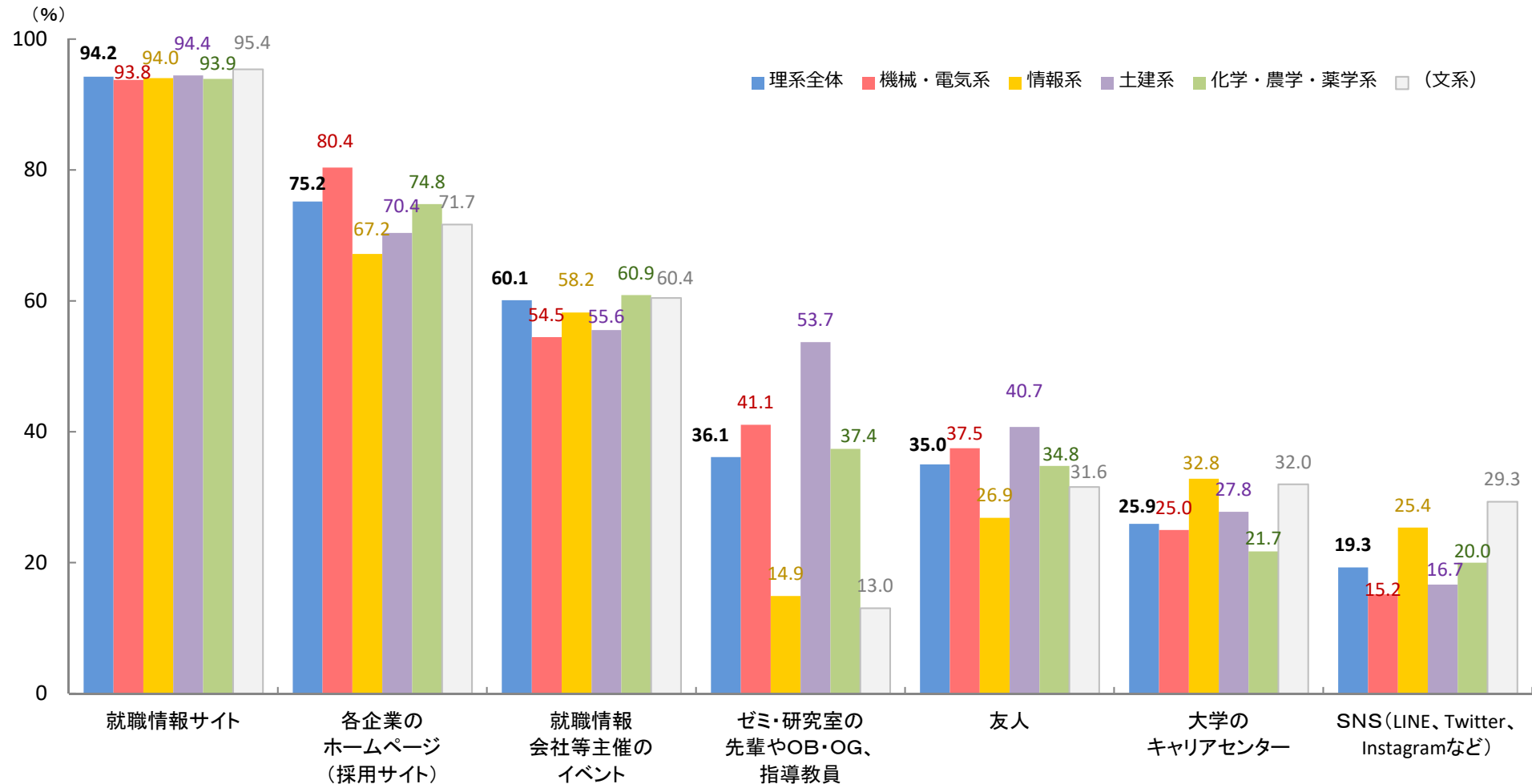
- いずれの属性も「将来性がある」が最多。文理や専攻分野によらず、学生共通の重要な視点となっていることがわかる。
- 2位は、ほとんどの属性で「給与・待遇が良い」。化学・農学・薬学系は「福利厚生が充実している」が2位(37.4%)。
- 情報系は「仕事内容が魅力的」が3位で、他の専攻より約10ポイント高いのが目立つ(34.3%)。「教育・研修制度」も7位と上位。

※5つまで選択 (%)

	理 系		機械・電気系		情報系		土建系		化学・農学・薬学系		文 系	
	1	将来性がある	50.6	将来性がある	45.5	将来性がある	49.3	将来性がある	63.0	将来性がある	52.2	将来性がある
2	給与・待遇が良い	38.6	給与・待遇が良い	43.8	給与・待遇が良い	35.8	給与・待遇が良い	38.9	福利厚生が充実している	37.4	給与・待遇が良い	42.8
3	福利厚生が充実している	30.4	福利厚生が充実している	33.0	仕事内容が魅力的	34.3	業績・財務状況が良い	38.9	社会貢献度が高い	33.9	福利厚生が充実している	32.3
4	社会貢献度が高い	27.9	職場の雰囲気が良い	26.8	業績・財務状況が良い	31.3	社会貢献度が高い	35.2	給与・待遇が良い	33.0	職場の雰囲気が良い	29.9
5	業績・財務状況が良い	26.8	業績・財務状況が良い	25.9	福利厚生が充実している	29.9	職場の雰囲気が良い	24.1	職場の雰囲気が良い	27.8	社会貢献度が高い	28.8
6	職場の雰囲気が良い	25.9	有名企業である	25.0	職場の雰囲気が良い	25.4	大企業である	24.1	大企業である	25.2	業績・財務状況が良い	25.9
7	仕事内容が魅力的	24.4	社会貢献度が高い	24.1	教育・研修制度が充実している	23.9	仕事内容が魅力的	24.1	業界順位が高い	22.6	休日・休暇が多い	25.5
8	大企業である	21.7	大企業である	24.1	社会貢献度が高い	20.9	業界順位が高い	20.4	業績・財務状況が良い	21.7	有名企業である	19.9
9	業界順位が高い	20.6	仕事内容が魅力的	23.2	大企業である	20.9	休日・休暇が多い	20.4	仕事内容が魅力的	21.7	大企業である	19.6
10	有名企業である	19.3	業界順位が高い	20.5	休日・休暇が多い	20.9	福利厚生が充実している	18.5	有名企業である	20.0	教育・研修制度が充実している	17.8
							有名企業である	18.5				
							教育・研修制度が充実している	18.5				

8. 就職活動に関する情報の入手先(1月時点)

- 「就職情報サイト」は、属性での大きな差は見られず広く利用されている。
- 文理差が大きいのは「ゼミ・研究室の先輩やOB・OG、指導教員」。土建系で過半数に上る(53.7%)。
- 情報系は「ゼミ・研究室」は1割台にとどまり(14.9%)、「キャリアセンター」が他の専攻分野より多い(32.8%)。

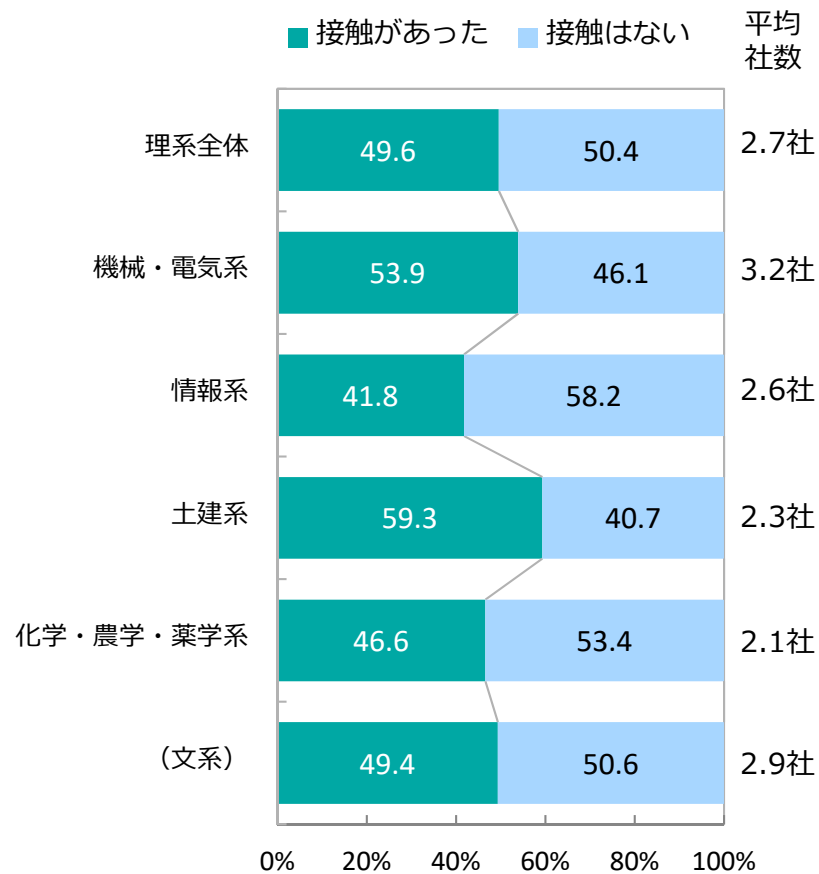


※オンライン形式も含む

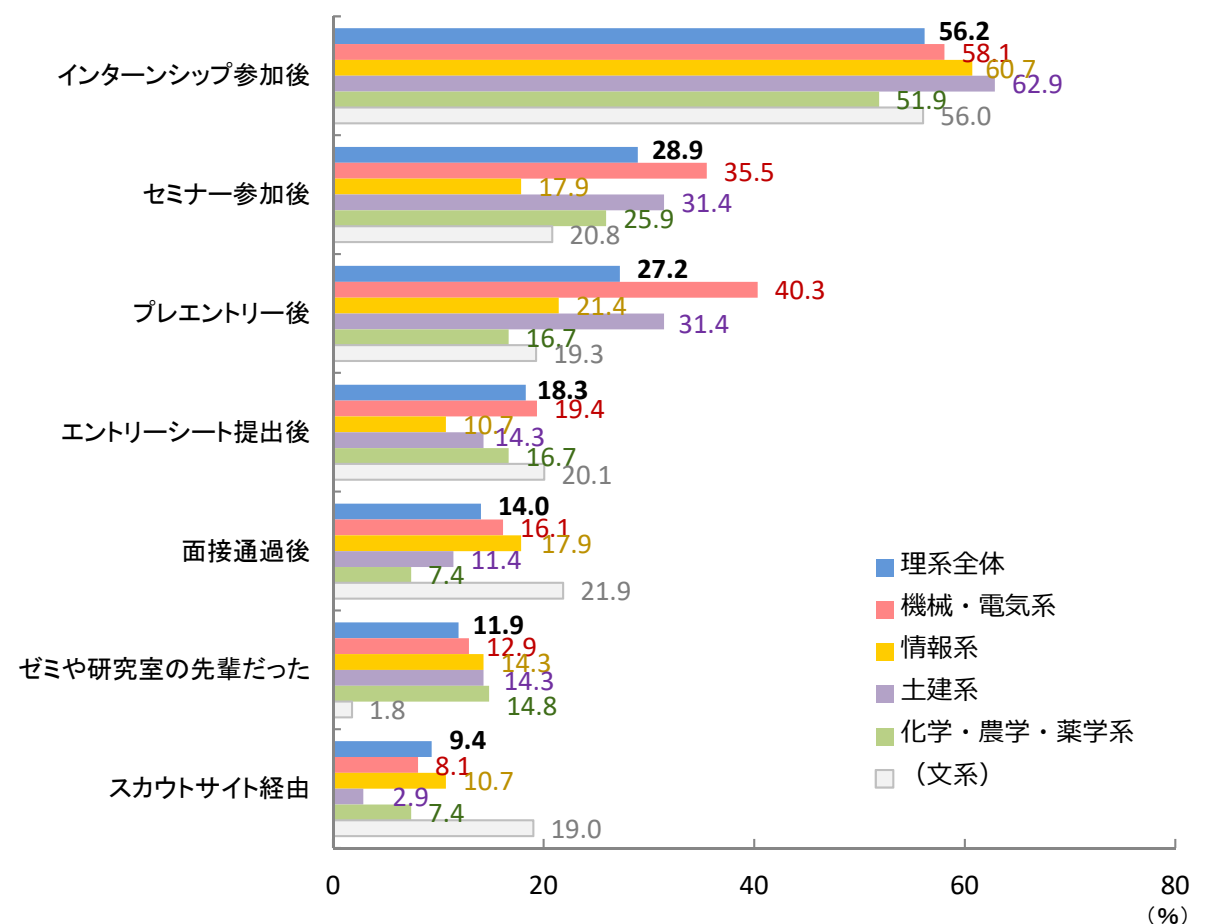
9. リクルーターとの接触

- 4月までにリクルーターから接触があった学生は、土建系と機械・電気系で過半数。情報系学生は少なく、4割程度にとどまる(41.8%)。
- 接触社数が多いのは機械・電気系で、平均3.2社。少ないのは化学・農学・薬学系で2.1社。
- いずれの属性も、接触のきっかけは「インターンシップ参加」が最多。機械・電気系は「プレエントリー」「セミナー参加」なども多い。

リクルーター接触の有無

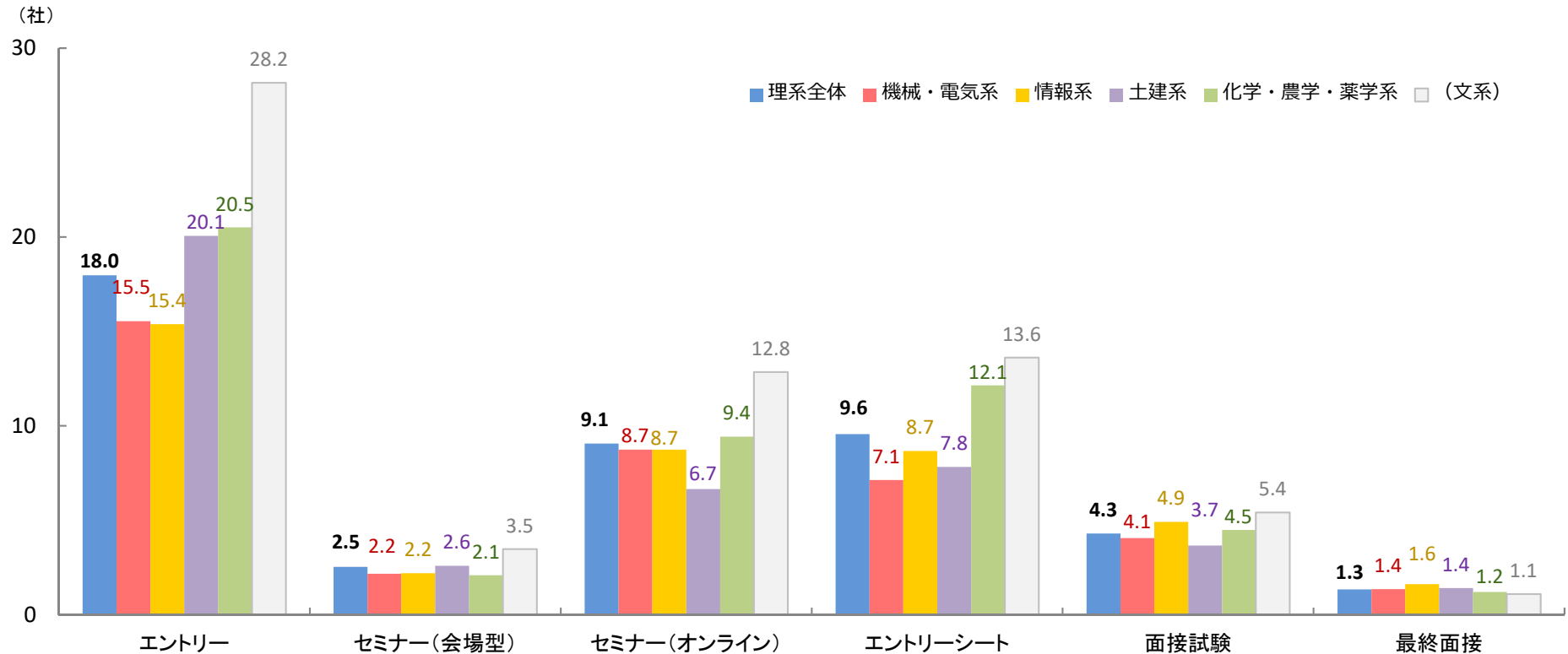


リクルーターと接触したきっかけ(ルート)



10. 就職活動量(経験率と平均社数/4月時点)

- 4月1日時点の理系学生のエントリー社数は平均18.0社。文系(28.2社)より10社以上少なく、企業を絞って活動する傾向が強い。
- 理系の中でも、機械・電気系、情報系はエントリー社数が少なく、化学・農学・薬学系は比較的多い。
- 土建系は最終面接の経験率が高く(71.2%)、進行が早い。



【経験率】

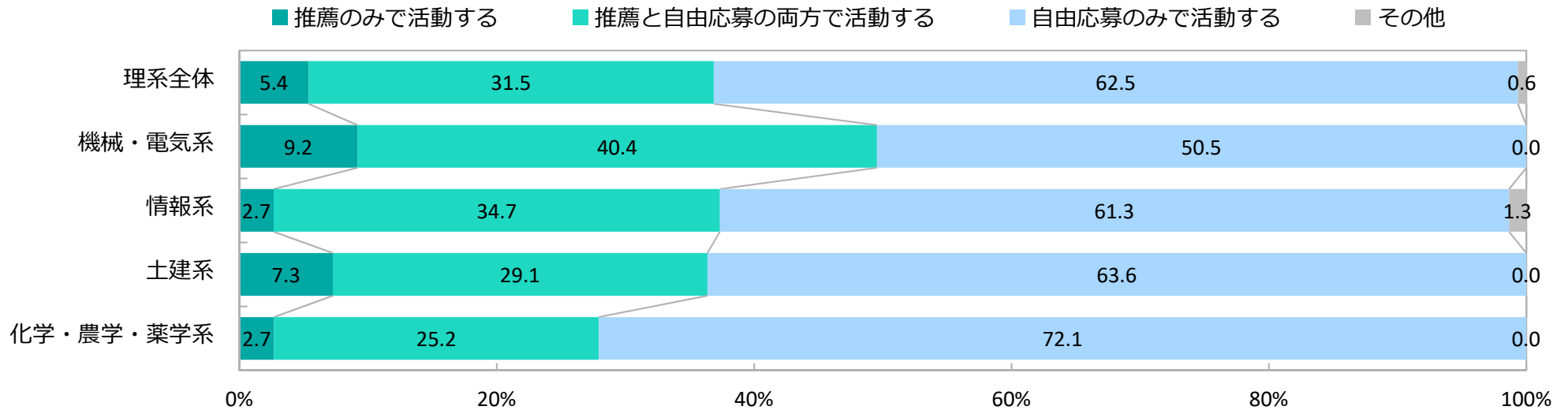
学部	エントリー (%)	セミナー(会場型) (%)	セミナー(オンライン) (%)	エントリーシート (%)	面接試験 (%)	最終面接 (%)
理系全体	93.7	31.1	87.1	89.9	82.1	55.7
機械・電気系	91.3	31.3	87.0	86.1	79.1	52.2
情報系	95.5	14.9	86.6	94.0	86.6	56.7
土建系	93.2	45.8	83.1	88.1	86.4	71.2
化学・農学・薬学系	97.4	28.7	91.4	95.7	85.3	55.2
(文系)	96.7	46.4	91.6	92.6	84.1	45.7

※社数はそれぞれ受験者を分母に、平均社数を算出

11. 推薦の利用予定

- 推薦の利用予定者は理系全体の3割強(自由応募との併願含め36.9%)。機械・電気系学生で多く、約半数に上る(同49.6%)。
- 併願を含め自由応募で活動する理由は、「希望の企業からの推薦枠がない」が最多(31.1%)。土建系では約半数(49.0%)。
- 情報系学生は「自分で就職先を見つけたい」が多く(29.6%)、化学・農学・薬学系は「文系就職をしたい」が比較的多い(11.1%)。

3月時点での就職活動の進め方



【自由応募で活動をする理由】

	理系 (%)				
	理系	機械・電気系	情報系	土建系	化学・農学・薬学系
希望の企業からの推薦枠がないから	31.1	29.3	18.3	49.0	32.4
自分で就職先を見つけたいから	22.1	14.1	29.6	13.7	22.2
推薦を受けても内定が取れるとは限らないから	17.1	22.2	25.4	13.7	13.9
できるだけ多くの企業を受けたいから	16.6	20.2	12.7	15.7	15.7
文系就職をしたいから	5.8	5.1	2.8	2.0	11.1
自由応募のほうが先に選考が始まるから	3.7	3.0	8.5	2.0	1.9
推薦枠はあるが学内の競争率が高いから	3.2	6.1	2.8	3.9	1.9
その他	0.5	0.0	0.0	0.0	0.9

12. 「面白そう」と感じる仕事

- 理系全体で最も高いのは「結果が目に見え、カタチになる仕事」(60.8%)。特に土建系学生で高く、7割を超える(74.1%)。
- 機械・電気系学生は、「世界を相手に働ける仕事」が他の専攻学生より高い。「専門的な知識を要求される仕事」も比較的高い。
- 化学・農学・薬学系は「新しい取り組みができる仕事」が高く、情報系は「チームワークで成し遂げる」「柔軟な判断を求められる」が高い。

